

(様式 1-3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	172	事業名	避難階段整備事業 (水海他)	事業番号	D-20-2
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)	市	
総交付対象事業費	0 (千円)		全体事業費	113,280 (千円)	
事業概要					
●対象地区の事業概要 東日本大震災による津波被害を受けた水海地区等において、津波による被災時の孤立を防ぐため、防災性の向上を図るための地区公共施設等を整備するもの。					
地区名			整備概要		
根浜地区			避難階段整備 (L=15m)		
両石地区			避難階段整備 (L=40m)		
水海地区			避難階段整備 (L=30m)		
東部地区			避難階段整備 (L=25m)		
平田埋立地			避難階段整備 (L=80m)		
●復興まちづくり基本計画における該当箇所及び概要					
基本目標 1	暮らしの安全と環境を重視したまちづくり 地震が発生したら高台へ逃げることを大原則に、避難路、避難場所、避難施設の整備とネットワーク化を進める。また、防災意識を維持するため、防災教育をはじめとする自助・共助のもとでの避難体制づくりを進める。				
スクラム 1	生命優先の減災まちづくりの推進 壊滅的な被害を受けた防波堤・防潮堤の復旧整備を行うとともに、後背地のまちづくりと連動させながら、道路や鉄道等を活用した多重防御により、生命を優先とした減災の考え方に基づくまちづくりを目指す。				
(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 5 月 10 日)					
本事業は、平成 31 年度事業費 113,280 千円 (国費 84,960 千円) を申請するため、D-4-23 災害復興公営住宅建設事業 (両石) より 97,098 千円 (国費 84,960 千円) を流用。 これにより、交付対象事業費は 0 千円 (国費 0 千円) から 113,280 千円 (国費 84,960 千円) に増額。					
当面の事業概要					
<平成 31 年度> 詳細設計、避難階段工事を行う。					

東日本大震災の被害との関係					
●対象地区の被災状況					
地区名	浸水面積	全壊戸数	半壊戸数	死者行方不明者	最大津波水位 (痕跡値)
根浜地区	28.0ha	75戸	1戸	14人	19.2m
両石地区	23.8ha	231戸	3戸	45人	28.4m
水海地区	33.0ha	12戸	14戸	0人	22.6m
東部地区	178.0ha (嬉石松原地区含)	916戸	499戸	143人	10.1m
平田地区	18.2ha	170戸	66戸	20人	10m
関連する災害復旧事業の概要					
なし					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	